

都市アイデンティティ戦略 ～千葉市らしさが感じられるまちへ～

# 海辺のグランドデザインを策定

## 20～30年先の将来を見据えた海辺の活性化に向けて

市では、稲毛から幕張にかけての総延長約4.3kmの人工海浜と稲毛海浜公園、幕張海浜公園からなる海辺エリアを活用して、周辺市街地を含む稲毛・幕張海浜エリアの20～30年先の将来を見据えた官民連携による活性化の取り組みの方向性を示す「海辺のグランドデザイン」を策定しました。これは、都市生活のあらゆる場面で海辺が活用される新しいライフスタイルを発信・提案し、充実した時間を過ごすことができる場所としていくためのビジョンとなるもので、今後、市民の皆さんや、まちづくり団体、企業などと連携して、千葉市ならではの魅力を一層高めていきます。



問い合わせ 海辺活性化推進課 ☎245-5309 FAX245-5695

### 活性化のコンセプト 海辺とまちが調和するアーバンビーチ

大規模イベントの会場となったり、スポーツ・レクリエーションや海越しのダイヤモンド富士などの景観をまちにしながら楽しめたりといった、海辺とまちが調和する千葉市ならではの都市型ビーチの可能性を追求していきます。

### 海辺エリアのゾーン分けと活性化方策の例

エリアを5つに分け、それぞれの長所を活かした機能を導入していきます。

<b>ボールパークの海辺ゾーン</b>	QVCマリンフィールドなどを核にスポーツ・レクリエーション、海の眺望を楽しめるゾーン ①海を見通せる「なぎさプロムナード」 ・健康と癒しのパッケージツアーの開催
<b>プロムナードの海辺ゾーン</b>	人工海浜や海浜公園、周辺地域をつなぎ回遊性を高め、海辺エリアの一体化を図るゾーン ②海を眺めてひと息「展望駐車場」・「シーサイドカフェ」
<b>マリンスポーツの海辺ゾーン</b>	マリンスポーツを通じて海に親しみ、楽しめるゾーン ③レストラン・ホールなど(ザ・サーフ オーシャンテラス) ④色々なマリンスポーツを体験「ヨットハーバー」 ⑤気軽にアウトドア「デイキャンプ場」
<b>歴史と自然の海辺ゾーン</b>	海岸の自然・歴史・文化を感じられる、ビーチ一体の広大なオープンスペースのあるゾーン ⑥和のイメージエリア「日本建築」、「歴史的モニュメント」 ⑦東京湾を一望「富士見の丘」
<b>ファミリーレジャーとスポーツの海辺ゾーン</b>	プールや各種スポーツ施設でスポーツ・レクリエーションを楽しめるゾーン ⑧インドアでニュースポーツを体験「屋内プールの転用」 ⑨砂浜でスポーツを体験「ビーチスポーツサイト」 ・都市型サマーキャンプの開催

詳しくは、市ホームページをご覧ください。

千葉市 海辺のグランドデザイン [検索](#)

## 千葉みなとから船に乗ろう! ～4月15日(金)、千葉みなとが新しくなります～



4月15日(金)、千葉みなとに初の本格的な旅客船さん橋がオープンし、旅客船の運航が始まります。また同日、隣接する市有地に、民間活力の導入により建設された、旅客船ターミナル機能を有する商業施設「ケーズハーバー」も全面オープンします。新しくなった千葉みなとに、ぜひ、お越しください。

### 旅客船さん橋からの旅客船の運航が始まります



4月15日(金)の記念クルーズ【左記】を皮切りに、4月16日(土)からは年間を通して、ほぼ毎日の旅客船の運航が始まります。千葉港内の周遊が楽しめるほか、5月からは工場夜景クルーズも始まります。また、伊豆大島への特別便や不定期の企画クルーズなどの運航も行う予定です。

### ケーズハーバー

「ケーズハーバー」は、旅客船ターミナルをはじめ、大型の水槽を眺めながら料理を楽しめるレストランやダイビングショップ、花屋、エステティックサロン、スムージーバーなどの店舗が入り、さまざまな楽しみ方ができる商業施設です。レストランは4月1日(金)にオープンします。お車でお越しの際は、有料駐車場をご利用ください(147台)。



旅客船の運航時間や記念イベントの開催時間など詳しくは、市ホームページをご覧ください。 [千葉中央港地区のまちづくり](#) [検索](#)

問い合わせ 海辺活性化推進課 ☎245-5348 FAX245-5695

### 記念イベントを開催 千葉中央港地区 港びらき

4月15日(金)～17日(日)に、旅客船さん橋のオープンを記念したイベントを開催します。

#### 4月15日(金)

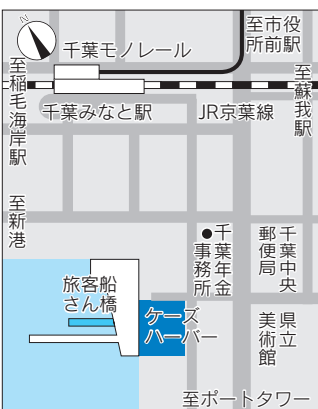
- ・消防艇・放水艇による記念放水
- ・無料の記念クルーズ(当日先着順)など

#### 4月16日(土)・プロレスイベント など

#### 4月16日(土)・17日(日)

- ・音楽やフラダンスなどのステージイベント

\*このほか、県立美術館での記念展覧会(4月16日(土)～7月3日(日))などのイベントも行います。



## 三陽メディアフラワーミュージアムの催し

- 原種チュウリップ展 4月5日(火)～17日(日)
- 企画展示 手まり雛と春の訪れ 4月5日(火)～10日(日)
- 第33回花の写真展 4月12日(火)～17日(日)
- シャビーシックガーデン 4月12日(火)～6月5日(日)



原種チュウリップ

バラやアジサイなどの初夏の花々とアンティーク調のガーデングッズで、フランスの田舎町に迷いこんだような上品でナチュラルなガーデンを演出します。

### フラワーカレッジ

①子どものための植物造形教室～春～フラワーアレンジとスケッチ 5月14日(土)

②初夏を彩る花々の銅板レリーフ 5月15日(日)

時間①10:00～12:00、②13:30～15:30 対象①小学生 定員①15人、②20人 費用①1,000円、②1,500円(いずれも、材料費)

申込方法 4月10日(日)消印有効。往復はがきに希望講座名(1人1通1講座)、氏名(フリガナ)、住所、電話番号、返信用宛先を明記して、〒261-0003美浜区高浜7-2-4三陽メディアフラワーミュージアムへ。 [hanabi-event@cga.or.jp](mailto:hanabi-event@cga.or.jp)、ホームページからも可。多数の場合抽選。

問い合わせ 三陽メディアフラワーミュージアム(稲毛海浜公園内) ☎277-8776 FAX277-8674  
入館料=大人300円、小・中学生150円 月曜日休館

参加者募集

## 家族お米作り体験

地元農家の指導を受け、田植えから稲刈りまでを体験してみませんか。ジャガイモの掘り取り体験や、収穫した作物のプレゼントもあります。ぜひ、ご参加ください。

日程 5月15日(日)～10月上旬のうち4日間  
会場 下田農業ふれあい館(下田都市農業交流センター)  
対象 家族またはグループ  
定員 100人(多数の場合抽選)  
費用 高校生以上4,000円、小・中学生2,000円、就学前児は無料。費用は材料費など。

### 特典

高校生以上 新米2kg、ジャガイモ5株  
小・中学生 新米1kg、ジャガイモ3株

申込方法 4月20日(水)必着。往復はがき(1組1通)に参加者全員の氏名(フリガナ)・年齢、代表者の住所・電話番号、返信用の宛先を明記して、〒265-0076若葉区下田町971下田農業ふれあい館へ。FAX、Eメールも可。



田植えって楽しいな!

問い合わせ 下田農業ふれあい館 ☎237-8011 FAX237-8988  
[shimodafreai08.10@ec2.technowave.ne.jp](mailto:shimodafreai08.10@ec2.technowave.ne.jp)